

「男女共同参画推進室」から 「ダイバーシティ推進センター」へ

理事(学長特命担当 (男女共同参画・ダイバーシティ推進担当))
本多 悦子

2020年4月1日、群馬大学に「ダイバーシティ推進センター」が誕生しました。

本学は、これまで2013年8月に設置された「男女共同参画推進室」が中心となって、意識啓発や環境整備、ネットワーク構築などの活動に取り組み、各部局との連携のもと着実に成果をあげてきましたが、「男女共同参画推進室」は、学長直下の会議体である男女共同参画推進委員会の規定で設置されていました。

このたび、「ダイバーシティ推進センター」は、学則に位置付けられた組織として、そして、より取り組みを強力に推進するため、体制の強化(専任教員の増)を認めていただき開設したものです。

センター構想の検討は二年前に始まりました。この間、平塚学長からの将来像への示唆を道標に、“ダイバーシティの全学的な推進と、これらの教育・研究に積極的に取り組むことは本学の果たすべき責務である”との決意のもと、関係の教職員の方々とセンターの必要性や目指す姿、具体的な体制や課題、役割等、数多くの議論を重ねて実現に至りました。開設までの皆さまのご理解やご支援に心から感謝申し上げます。

「ダイバーシティ推進センター」の誕生が、男女共同参画の推進はもとより、人種や国籍、障がいの有無、性自認・性的指向など、さまざまな背景を持つ構成員の多様性を尊重し、本学の全ての構成員がその能力を十分発揮できる環境づくりへのさらなる原動力となることを願っております。



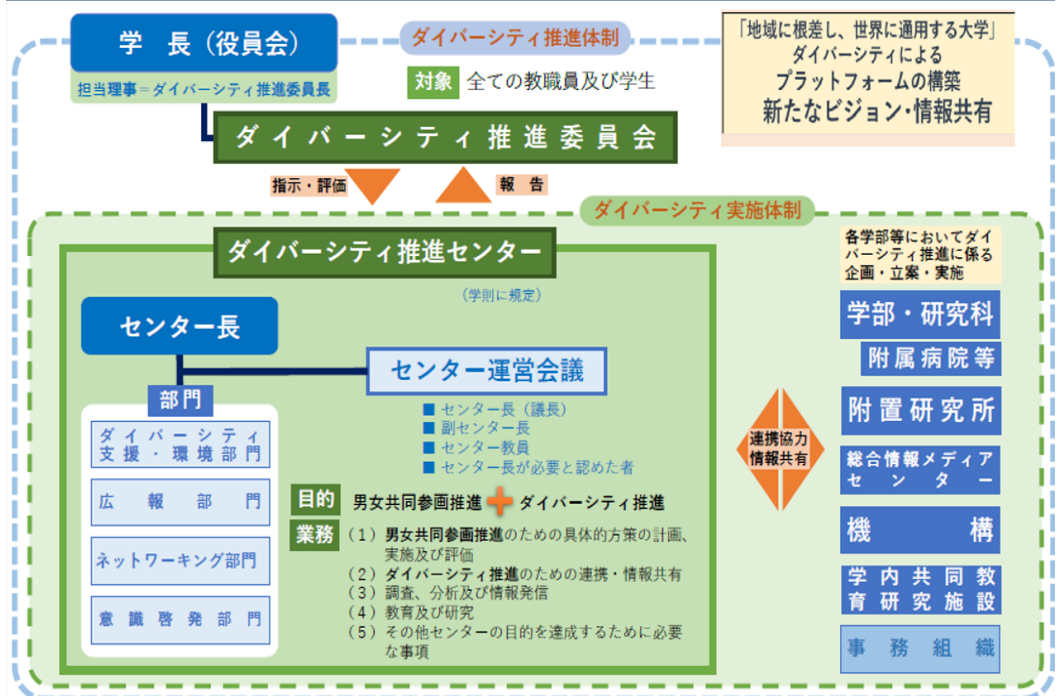
■発行
国立大学法人群馬大学
ダイバーシティ推進センター

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2
TEL: 027-220-7146
FAX: 027-220-7143
mail:kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp
HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/



2020.7
vol.23

ダイバーシティ推進センター関連組織図



センター長 挨拶

ダイバーシティ推進センター長 工藤 貴子



本年度より「男女共同参画推進室」は「ダイバーシティ推進センター」へと改組しました。性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドラインの策定に続く方針として、今後本学は男女以外にも、多様な性（LGBTs）、障がい、国籍などの多様性の尊重に積極的に取り組むこととなります。

2013-2015および2017-2022年度採択の文部科学省支援事業（まゆだまプラン、まゆだまプラン・アドバンスト）にも後押しされて本学の男女共同参画推進体制は急ピッチで整備され、男女共同参画推進室が中心となって展開してきた様々な活動は「まゆだま」の愛称で学内でも周知が進んでいる様に見えます。学外でも国大協の調査やお茶大インデックス、JSTの事業評価等において高い評価を得ております。

一方で、「男女共同参画」は全体に占める女性研究者・女性上位職の割合、男性の育児休暇取得率等の数値を見る限りはまだ不十分という印象は否めません。更に、コロナウイルスのパンデミックが多様性社会における諸問題を改めて提起する報道も目にします。男女も含め多様な人材が個々人の持てる能力をいかに発揮して輝けるしなやかで強靱な組織の構築は非常に高いハードルです。高い理想を持ちつつ、男女共同参画活動を継続し、多様性尊重に資する学内連携促進等できることから地道に進めていくことがセンターの役割と考えております。今後ともお力添えの程何卒よろしくお願い申し上げます。

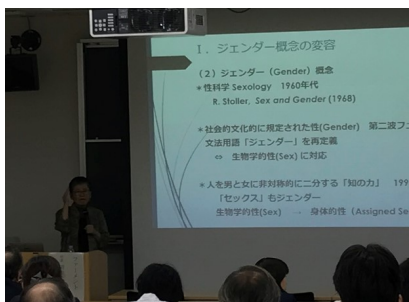
令和2年度 ダイバーシティ推進センター運営委員名簿

センター長	工藤 貴子 (理工学府 教授)	副センター長	嶋田 淳子 (保健学研究科 教授) 長安 めぐみ (ダイバーシティ推進センター 講師) 尾野 浩康 (総務部総務課長)
ダイバーシティ 支援・環境 部門	◎浅野 素子 (理工学府 教授) 内田 陽子 (保健学研究科 教授) 新藤 慶 (共同教育学部 准教授) 長安 めぐみ (ダイバーシティ推進センター 講師) 吉田 由香里 (重粒子線医学推進機構 助教)	意識啓発 部門	◎末松 美知子 (社会情報学部 教授) 藤井 正希 (社会情報学部 教授) 座間 淑夫 (理工学府 准教授) 堀居 拓郎 (生体調節研究所 准教授) 山崎 法子 (共同教育学部 准教授) 羽鳥 麗子 (附属病院地域医療研究・ 教育センター 講師)
広報 部門	◎小和瀬 桂子 (医学系研究科 准教授) 若井 明彦 (理工学府 教授)	ネット ワーキング 部門	◎嶋田 淳子 (保健学研究科 教授) 恩幣 宏美 (保健学研究科 准教授)
事務	加藤 真一 (総務部人事労務課長) 市川 雅一 (研究推進部研究推進課長) 町田 敦志 (理工学部事務長)	田村 順一 (学務部教務課長) 渡辺 英雄 (昭和地区事務部総務課長) 溝田 哲也 (総務部総務課専門職員)	
オブ ザー バー	結城 恵 (社会情報学部 教授) 五味 洋一 (学生支援センター 准教授) 田浦 久美子 (高度人材育成センター 特任教授)		

◎は部門長

昭和キャンパス(2019年10月4日)

性の多様性：周辺から中心へ 開催



本学の性の多様性ガイドラインスーパーバイザーの田中かず子氏（元国際基督教大学教授）をお招きし、当日は、医療の質安全管理部と共催し、69名（学生6名含む）の参加がありました。病院長、看護部長、医学部長、保健学研究科長もご参加いただき、熱気に包まれた講演会でした。田中先生は、ICUジェンダー研究センター顧問、三鷹ダイバーシティセンター共同代表を務められています。本学の性の多様性のガイドラインの作成でも、貴重なアド

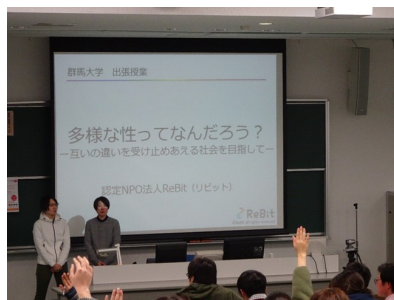
バイスを頂き、現在は本学の「にじいろメール相談」スーパーバイザーに就任されています。講演では、当事者学生の学籍簿の名前や性別の変更などのICUでの取り組みをお話いただき、現代は社会的文化的に規定される性のジェンダー概念も変化していること。人権としての「性」について、法律や国際的動向も含めて紹介頂きました。最後に、性の多様性はマジョリティの問題になっていることについてお話いただきました。講演会後のアンケートでは満足したと回答した方が90%で、講義で学ぶ必要あると回答した方が96%でした。印象的だったのは「理解と共生はちがうこと」の講師の言葉です。マイノリティはすでに一緒に生きている、理解とはマジョリティの言語で説明すること。声をあげることができる環境作りが大切なことを強く感じました。

令和元年度 性の多様性講演会 開催報告

荒牧キャンパス(2020年1月7日)

多様な性って何だろう ～互いの違いを受け止めあえる社会を目指して～ 開催

認定NPO法人「Rebit」の小川奈津己さん、よっしーさんをお招きし、学生、教職員を含めて120名の参加がありました。性の多様性を示すSOGIはSexual Orientation(好きになる性)とGender Identity(自認する性)の総称です。すべての人が異なるセクシュアリティを持っており、それぞれ尊重しようという意味が込められています。講演では「性はグラデーションで人の数だけ多様性がある」とセクシュアリティの4つの要素(自認する性、からだの性、好きになる性、表現する性)に基づき、講師のセクシュアリティの実体験が語られ、学生からも共感的な質問がたくさん寄せられました。セクシュアリティは見た目ではわかりません。周囲の理解がないことでつらい思いをしている当事者が身近にいる。友だちにカミングアウトをされた時、大切にしたいステップ「聴く」「知る」「つなげる」そして、大切なのは「決めつけない」「広めない」という講師の言葉が印象的でした。



桐生キャンパス(2020年1月16日)

LGBTs 講座 いろいろな性 ～セクシュアルマイノリティについて～ 開催



群馬の唯一の支援団体「ハレルワ」の間々田久渚代表、黒澤由楓さんをお招きし、関学府長をはじめ38名（学生12名含む）の参加がありました。ハレルワはセクシュアルマイノリティが生きやすい社会を作ろうと2015年に発足。講演では、居場所作りや今年も開催された「ぐんまにじいろ成人式」の様子が紹介されました。性のあり方について、恋愛をする人もいればしない人も、好きになる相手のセクシュアリティを定めない人もいます。性自認や性的指向（SOGI）につい

て差別的な言い方で揶揄することはハラスメントにも繋がる。同調して笑ったりしないことが当事者の安心につながる。わかってくれる人との出会いがどんなに大切か。伝えられたらしっかり話を聴くこと、どんな場面で困っているのかを知ること。秘密を守り広めないことを明日から始めてほしいと伝えられました。ハレルワ交流会『ハレの輪』（毎月第4日曜日）ツイッターで情報発信しています。

令和元年度 性の多様性講演会 開催報告

にじいろライン相談

性の多様性に関する相談を受付けています

本学では2019年4月に「群馬大学 性の多様性に関する基本的考え」および「対応ガイドライン」に基づき、対応窓口「にじいろラインメール」を設置いたしました。本窓口では本学の全ての教職員・学生を対象にメールで対応します。また、専門相談員が各学部や部門の対応チームと連携し、丁寧に個別の事案に対応いたします。

- ◇ 対応窓口：にじいろラインメール
- ◇ メールアドレス：niji@gunma-u.ac.jp
- ◇ 対象：全教職員・学生

話してみない？

にじいろラインメール
niji@gunma-u.ac.jp

2019年4月10日、桐生大学「性の多様性に関する基本的考え」
「性別多様性に関する対応ガイドライン」が策定されました。

にじいろラインメールは、
群馬大学すべての方に、
メールで対応します。

連絡先
〒373-8510 群馬県桐生市桐生1-1-1
100号室
TEL 0272-22-1111
FAX 0272-22-1112